

## 編集後記

『郵政博物館 研究紀要』第11号をお届けします。巻頭エッセイ1本、シンポジウム特集3本、論文2本、研究ノート3本、資料紹介3本、トピックス3本の構成です。

本年もさまざまな専門分野の先生方にご寄稿いただき、バラエティに富む誌面となりました。巻頭エッセイをお寄せくださいました山本氏、当館シンポジウムへのご登壇と特集記事でのご報告を賜りました石井氏、杉浦氏をはじめ、ご執筆者各位に心より感謝申し上げます。

本誌は、郵政歴史文化研究会の研究成果を広く学界および社会に公開するために創刊されました。同研究会は5分科会から構成され、現在、郵政博物館内外の研究者約20名を擁しています。今年度、各分科会では最大4回の研究会が開催され、郵政博物館収蔵資料の合同調査や研究報告、意見交換が行われました。また、一部の会員は個別に資料センターに足を運び、地道な調査を継続されています。本誌にて今年度の活動成果をご高覧ください。

また、本誌は「郵政事業及び通信の歴史と文化に関する諸問題」に関わる外部研究者の投稿も受け付けております。今号には、上越市立博物館主任（学芸員）の荒川氏、郵便史研究会会長の近辻氏、同副会長の星名氏にも専門的な知見をお寄せいただきました。

本誌は博物館や大学図書館など168の学術機関に送付されるほか、郵政博物館の公式ホームページにて無料公開されています。各論考は国立情報学研究所の学術情報データベース（CiNii）にも採録され、広く学界の評価の目にさらされています。今後も学術誌としての水準を維持できるように、緊張感をもって編集にあたりたいと考えております。 （田原・倉地）

### [郵政歴史文化研究会 主査]

石井 寛治（東京大学名誉教授）  
新井 勝紘（元専修大学文学部教授）  
杉浦 勢之（青山学院大学総合文化政策学部教授）  
杉山 伸也（慶應義塾大学名誉教授）  
藤井 信幸（東洋大学経済学部教授）  
山本 光正（交通史学会会長）  
田良島 哲（東京国立博物館特任研究員）

（分科会担当順）

### [編集委員]

井上 卓朗（郵政博物館館長兼主席資料研究員）  
田原 啓祐（郵政博物館主任資料研究員）  
倉地 伸枝（郵政博物館学芸員）

---

## 郵政博物館 研究紀要 第11号

印刷 令和2年3月19日  
発行 令和2年3月19日

編集 郵政歴史文化研究会  
発行 公益財団法人 通信文化協会 博物館部（郵政博物館資料センター）  
〒272-0141 千葉県市川市香取二丁目1番地16号